

南海トラフ地震臨時情報



気象庁は、南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に、巨大地震の発生に備えた防災対応を促すための「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

「南海トラフ地震臨時情報」発表までの流れ

南海トラフの想定震源域又はその周辺で
M6.8以上の地震が発生

南海トラフ想定震源域のプレート境界面で
通常と異なるゆっくりすべりが発生した可能性

5分～30分

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催
→ 発生した事象が南海トラフ地震の発生に関係するか検討

2時間程度～1週間（※）

巨大地震の発生に
『警戒』が必要な場合

巨大地震の発生に
『注意』が必要な場合

『警戒』『注意』
に当てはまらない場合

南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震警戒）

南海トラフ地震臨時情報
（巨大地震注意）

南海トラフ地震臨時情報
（調査終了）

※ ゆっくりすべりが観測された場合は、それが収まったと評価されるまで。

防災対応

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）

事前の避難が必要な災害リスクがある下記①②③の住民等を基本として、1週間を目途に、身の安全を守るための防災対応を取ります。

- ① 急傾斜地等土砂災害のリスクがある地域の住民等
- ② 堤防沈下に伴う河川水の越流による浸水害の発生が想定される地域の住民等
- ③ 耐震性の不足する住宅等に居住する住民



南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

日頃からの地震への備えを再確認し、必要に応じて自主的に避難を開始します。



地震発生時期等の確度の高い予測は困難であり、南海トラフ地震臨時情報が地震発生前に必ず発表されるわけではなく、また、発表されたからといって必ず地震が発生するというわけでもありません。

最初の地震に対する緊急対応をとった後、自らの地域で発生が懸念される大規模地震に対して、明らかにリスクが高い事項についてはそれを回避する防災対応を取り、社会全体としては、地震に備えつつ通常の社会生活を出来るだけ維持していくことが必要となります。